



愛知長久手ロータリークラブ

2012~2013

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター
会長 安田茂樹 幹事 小谷恒夫 会報 吉田濱一
Email : a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局

TEL:0561-64-5446
FAX:0561-64-5459



奉仕を通じて 平和を



本日 第 498 回 例会 2013 年 4 月 2 日 (火 曜 日) 第 491 号

夜間花見例会

<本日のプログラム> Today's Program

点鐘

【華野】 18:30~

<ロータリーソング> 「奉仕の理想」

前 回 第 497 例 会 2013 年 3 月 26 日 (火 曜 日) 記 録

<ロータリーソング> 「日も風も星も」
「四つのテスト」

総合司会 松原正敏副幹事

<出席報告>

会員総数 22名 (免除会員1名)
出席者 14名 出席率 66.67% 前々回補正出席率 100%



カツカレー
サラダ

<来訪者>

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 安田茂樹会長



大分暖かくなりまして、こちらへ来る途中も桜が咲き始めてこれから一番いい時期じゃないかと思えます。我が家の近く鶴舞公演もそろそろで、8分咲き位で先週ぐらいから花見をする人が結構いました。今年は風も少なく暖かで花見日和に良いかなと思えます。皆様はご存知かもしれませんが桜の歴史を調べてみましたのでご披露させていただきます。さくらの「さ」は穀霊(穀物の霊)を表す古語で、「くら」は神霊が鎮座する場所を意味し、「さ+くら」で、穀霊の集まる依代(よりしろ)を表すという説があります。昔から、桜の開花が農作業の目安の一つになっていたことを思えば、いにしえの人々が桜に実りの神が宿ると考えたとしても不思議ではありません。平安時代より前までは、野生の桜を鑑賞していました。日本書紀(720年)には、神功皇后の時代にすでに鑑賞されていたことが書かれています。また、奈良の吉野山は桜の名所となっており、持統天皇(686~697年)は花見のために何度も訪れました。桜は万葉時代の歌にも詠まれています。その数は梅よりも少ないものでした。それは、梅を愛でる大陸の文化に貴族たちがあこがれていたためです。平安時代(奈良時代との説も)に入って、野生の桜を都市部に移植して鑑賞するようになりました。桜の花見の風習は、9世紀前半に嵯峨天皇が南殿に桜を植えて、宴を催したのが最初と言われています。その後、貴族から武士や大衆へ、そして都から地方へと広まっていきました。桃山時代には、豊臣秀吉が吉野と醍醐(京都)で盛大な花見を催しました。花見の楽しみが一般に知られるようになり、大衆にも一層身近なものになりました。江戸時代に入ると、3代将軍家光が上野に寛永寺を建てて吉野の桜を移植し、隅田川河畔にも桜を植えました。また、8代将軍吉宗が飛鳥山を桜の名所にしたことも有名です。花見はますます庶民に広がりました。江戸時代の前半には、桜が一気に散る様が武士に嫌われたようですが、泰平の世に入り、歌舞伎の忠臣蔵で「花は桜木、人は武士」という台詞が使われたことで、武士の桜嫌いは消えていったとも言われます。更に、江戸時代末期に登場し、あっという間に全国に広まった染井吉野のおかげで、日本中に花見の風習が広く普及し、深く浸透していったと言えるでしょう。一方、兵士は桜のように潔く散るべしとして、戦争中は軍国主義の道具として使われた悲しい歴史もありました。江戸時代後期には、品種改良により桜の新しい種類が急速に増加しました。江戸時代末期には少なくとも250ほどの種類が存在したのではないかとされます。これらの桜は、大名の江戸屋敷などにも多く植えられていました。ところが、明治維新の際、放棄された東京の大名屋敷は荒廃し、植えられていた桜を含む樹木が切られることもしばしばでした。また、社寺の庭園の桜も同じように伐採されることが多かったそうです。駒込の植木屋、高木孫右衛門たちが、それらの桜を惜しみ、自宅に集めて保存に努めていました。ところで、明治18年、荒川の堤防が改修される際、堤防上に桜を植えてはどうかという村民からの要望が出ました。

堤防の修理を提案した戸長の清水謙吾は、どこにでもある染井吉野ではなく、サトザクラ類の優れた品種を植えたいと考え、旧知の仲だった高木孫右衛門と交渉し、彼が集めた桜78種3225本をそっくり堤防上に植えました。もしこのとき、当時流行の染井吉野が植えられていたら、現代の私たちが見ることのできる江戸時代の品種はもっと少なかっただろうと言われていています。桜が植えられたのは、江北から西新井の間です。明治19年に植えられた桜は、明治36年には見頃になり、明治45年頃までがもっとも立派だったそうです。ところが、ここで荒川堤の桜を不幸が襲いました。河川改修工事などにより次々に伐採され、昭和7年には52種555本にまで減りました。更に、堤防上が未舗装の国道になっており、交通量が多いため土ぼこりがひどく、枯死する桜が多かったそうです。荒川堤への桜の植栽事業に最年少で参加し、桜の維持管理も行なっていた船津静作は、品種の絶滅を恐れ、自ら苗圃を作り育成・保存をするようになりました。また、ここで育成した桜を全国各地に、そしてアメリカ合衆国ポトマック河畔やイギリスのケント州等にも送り出しました。こうして、江戸時代に豊富にあった品種はその数を減らしつつも、桜を大切に思う人たちの手を経て現在に受け継がれてきたのです。最近インターネットで桜の起源は韓国だという説が韓国で出ています。もともとはネパールに秋に咲く桜の原種があり、それが日本に来て、日本でも秋に咲く桜があり、それはネパール原種の桜だそうです。韓国は300年ぐらい前に韓国産の桜がたまたまあり、それで韓国が桜のルーツだと言っているそうです。ハンゲル語は分かりませんので、真意の程はよく分かりませんが、日本の桜は平安時代前よりあったので、たまたま調べた桜に韓国産遺伝子の桜があっただけという事だそうです。桜だけでなく、花だとか木の事などを調べてみると面白いことが分ります。桜は日本の象徴の様に言われていますが国花ではありません。桜の季節は短いのでこんなことを思い出しながら楽しんで頂ければと思います。

<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

- ・桜も満開となりました。佐藤さん卓話よろしくお祈いします。本日もよろしくお祈いします。
- ・本日もよろしくお祈いします。
- ・佐藤さんの卓話楽しみにしています。本日もよろしくお祈いします。
- ・毎日ロータリークラブに出ています。体が一番! 出席できる喜びを感じています。
- ・本日もよろしくお祈いします。
- ・桜もあと少しで咲きますね。本日もよろしくお祈いします。
- ・桜も見ごろ、とても暖かくなりました。本日もよろしくお祈いします。
- ・佐藤文昭さん卓話ご苦労様です。本日もよろしくお祈いします。
- ・本日もよろしくお祈いします。
- ・地区国際奉仕委員会 委員長 本日の卓話楽しみです。よろしくお祈いします。

安田 茂樹

伊藤 広治
大島 昭夫
佐藤 文昭
田中 信子
林 正俊
日野 典子
松原 正敏
宮島 桂子
山田 文明

(敬称略)

<幹事報告> 松原 正敏副幹事

- 1) ①次週4月2日(火) 夜間花見例会 18:30～ 【華野】
②例会前 18:00～ 第10回役員・理事会
- 2) 4月3日(水) 地区内交流クラブ 三河安城RC例会出席…7名
11:00 トヨタ博物館駐車場集合
- 3) 被災高校生支援事業…色紙寄せ書き・集合写真

<卓話> 演題 : 地球の子供たちを考えるシリーズ「保健・医療・環境」

講師 : 地区国際奉仕委員会 委員長 佐藤 文昭さん

「汚れた水を飲む子供達」…静かな緊急事態

毎年およそ1100万人の子供が5歳まで生きられない。3秒に一人が死んでいる。

主な原因は下痢やはしか肺炎など。予防接種や適切な治療をすれば治るが、栄養不足で体力低下、医薬品の不足。

「安全な飲み水を手に入れよう」

1990年代初め、5歳未満の子供が死亡する第一の理由は下痢性の病気

・汚れた水を飲む

・トイレが無い、川の水や地下水が汚染

アフリカやアジアを中心に世界の12億人が安全な水を利用できない。ゴミ山周辺の地域でも汚れのしみこんだ水を飲み水として使用している人たちがいる。皮膚に湿疹が起きたり、結膜炎の病気m、下痢性に感染症が広がる被害が出ている。

「お母さんの健康を守って元気な赤ちゃんの誕生を」

不衛生な環境の中で出産したり、医者や専門技術を持った人がいないまま出産するなど妊娠や、出産で毎年50万人の女性が死亡する。

短い間隔で何人もの子供を産む。年齢が低いうちに出産する。

母親の健康を守って元気な赤ちゃんが生まれるようにすると、こども死亡率を減らすことができる。



「20世紀最悪の感染症 エイズ」

現在ではHIVに換算していてもエイズの発病を遅らせる薬や、母親が感染者でも子供に感染させない方法もわかってきた
エイズ孤児にとって最も怖いのは社会から見捨てられる事である。

「世界の三大感染症」

[エイズ] [結核] [マラリア]この3つの病気で毎年600万人以上の命が失われている。

「人も大地も壊しつづける戦争」

今でも続く枯葉剤の被害(ベトナム社会主義共和国)

枯葉剤=猛毒のダイオキシンが含まれた化学薬品。体重50kgの人1万人以上殺せる[史上最強の猛毒物質]ともいわれる。発がんや先天性障害の原因にもなり、人間の体を破壊し、遺伝子までも壊す。水や土に残ったダイオキシンはやがて、飲み水、食べ物を通して人間の口の中に入り、体の中にたまっていき、半分くらいが排出されるのに5年~10年かかる。現在でもベトナム各地ではがんや生まれた時から障害を持つ子供が後を絶たない。

「悪魔の兵器地雷」

世界で約90の国の人々は地雷の被害にあっている。アフガニスタン、アンゴラ、カンボジア、モザンビーク、ソマリアなどその数6000~7000万個。地雷を持っている国は94カ国、2億3000万個。地雷は戦争が終わっても人や動物を傷つけ殺しつづける恐ろしい兵器。爆発装置に触れたら見境なく犠牲にする。たとえ死ななくても手足が亡くなったり、不自由な暮らしを強いられ、一生苦しめらることから「悪魔の兵器」と呼ばれるようになった。1990年代には毎年1000人を超える犠牲者が出ている。その8割が農村の貧しい人々である。

「放射能の恐怖 劣化ウラン弾」

核燃料を造り時にできる廃棄物、これを砲弾にしたのが鉄の2.5倍も重い金属の劣化ウラン弾。その放射線量は広島に投下された原子爆弾の14000倍~36000倍にもなる。使用後のイラクではガンや、白血病が激増し、戦争前に比べて、ガンは7倍以上、無脳症や水頭症など先天的な障害をもって生まれた子供は3倍以上にもなった。ウランの放射能の強さが半分になるまでの時間は45億年。

「2025年には50億人が飲み水に困る(人口増加のため)」

世界では12億人が汚れた水を飲み、24億人が下水などの衛生施設が整っていない地域に住む。開発途上国の病気の80%は汚れた水が原因。安全でない水に係わる病気で毎日およそ6000人の子供が命を失っている。

「森林減少 森は水と命のみなもと」

森林は地球の表面積の1割足らず。無数の動植物の住処であると同時に地球環境を支える大切な役割を持っている。植物葉を広げて、土が流れ出すのを防ぎ、水分を蓄えて地球を守る。緑の葉は光合成を繰り返し、空気中の二酸化炭素を吸収して地球温暖化を予防する。酸素と水蒸気を吐き出して雲を作り、雨を降らせる準備をする。森は大地を守り、地球の水循環を支え、地球全体がみずみずしい生命力を持って生き続けるためのみなもと。

人間はよりよい生活を求めて気を切り盛りを切り開いてきた。産業が発達すると大気汚染や酸性雨などで一度に多くの樹木を傷つけてきた。森は減り続け、毎年日本の半分くらいの森が無くなっている。先進諸国の無計画な開拓は、自然が回復力を失うほどに大規模で、山間地域の住民の暮らしさえ奪おう説いている。

「砂漠化 人の暮らしが砂漠を広げる」

砂漠は砂に覆われた砂丘のようなところばかりではない。干からびて荒れた土地や、粒の粗い砂や、小石だらけの土地、表面の土が雨や香醋腕流された岩や地盤だけになった土地も砂漠という。地球上の陸地のおよそ4分の1が砂漠だが、20世紀後半から砂漠はさらに広がっている。毎年6万km²が砂漠になっている。

原因 気象条件によるものはごくわずか。人間の暮らしが引き起こしたものがほとんど。

・ゆき過ぎた開墾 ・伐採 人口の急増で土地の限界を超える耕作や放牧をしている。生産をあげるための灌漑も、無計画に長期間続けると地下水まで減らし、地中の塩分がこれによって濃くなって植物が育たない。人々は食料を得るために、農地を広げ家畜を殖やした。ヤギやヒツジなどの家畜は草や木の根、木の皮まで食べつくした。人間は燃料の「まき」を得るために木を切り、木がなくなれば若木まで刈り取って砂漠化を進めてしまった。



4月9日(火)	4月16日(火)	4月23日(火)	4月30日(火)
卓話:会員卓話 (トヨタ博物館)	卓話:地区協議会報告 (トヨタ博物館)	卓話:会員卓話 (トヨタ博物館)	規定休日 (トヨタ博物館)